

天然人工芝 「ハイブリッドターフPG」

【概要】

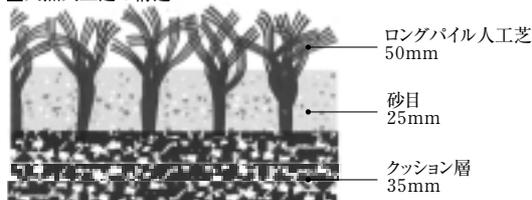
遊具事故の中で最も多いものが遊具からの落下事故で、その割合は遊具事故全体の80%を占めている。その落下事故から子ども達を守る「天然人工芝」。これは優れた衝撃吸収性能で遊具の落下高さに応じ、適切な緩衝性能を発揮する。天然人工芝は、子ども達の大切な遊び場の安全性を一段と高める。

【特徴】

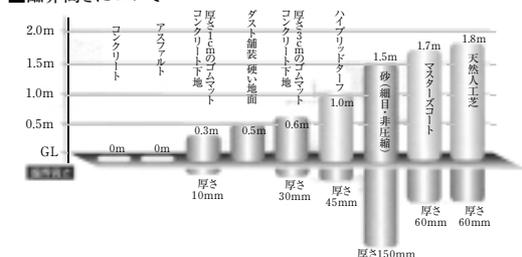
- ①弾性を備えた緩衝材との組合せで、HICに対応する性能を追及。優れた衝撃吸収性で安全性を向上させる。
- ②耐摩耗性、耐候性に優れた人工芝を採用。水はけも良く、水溜りができにくい透水構造。
- ③一年を通し鮮やかな緑を維持し、砂埃もたたく、メンテナンスも容易である。



■天然人工芝の構造

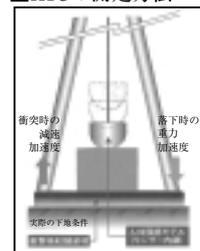


■臨界高さについて



遊具の舗装材の性能は「臨界高さ」として表され、臨界高さ以下からの落下であれば、脳に深刻な影響はないとされている。臨界高さとはHIC(頭部損傷係数)の値が1000を超えない範囲での最大落下高さのことで、HICの値が1000未満であれば、脳挫傷、頭蓋骨陥没などの重大事故が起きにくいとされている。

■HICの測定方法



HIC測定器を用いて、より安全な製品開発をしています。

- 想定される遊具の落下高さから人体頭部モデルを落下させ、設置面に衝突させます。
- 内蔵される加速度センサーからコンピューターが、落下時の重力加速度と衝突時の減速加速度から衝撃値(HIC)を計算します。
- 計算数値が、HIC1000以下であれば、想定される遊具の落下高さに対応する安全性の高い舗装材です。HIC1000を超える場合は脳障害の可能性が2次関数的に増大します。

